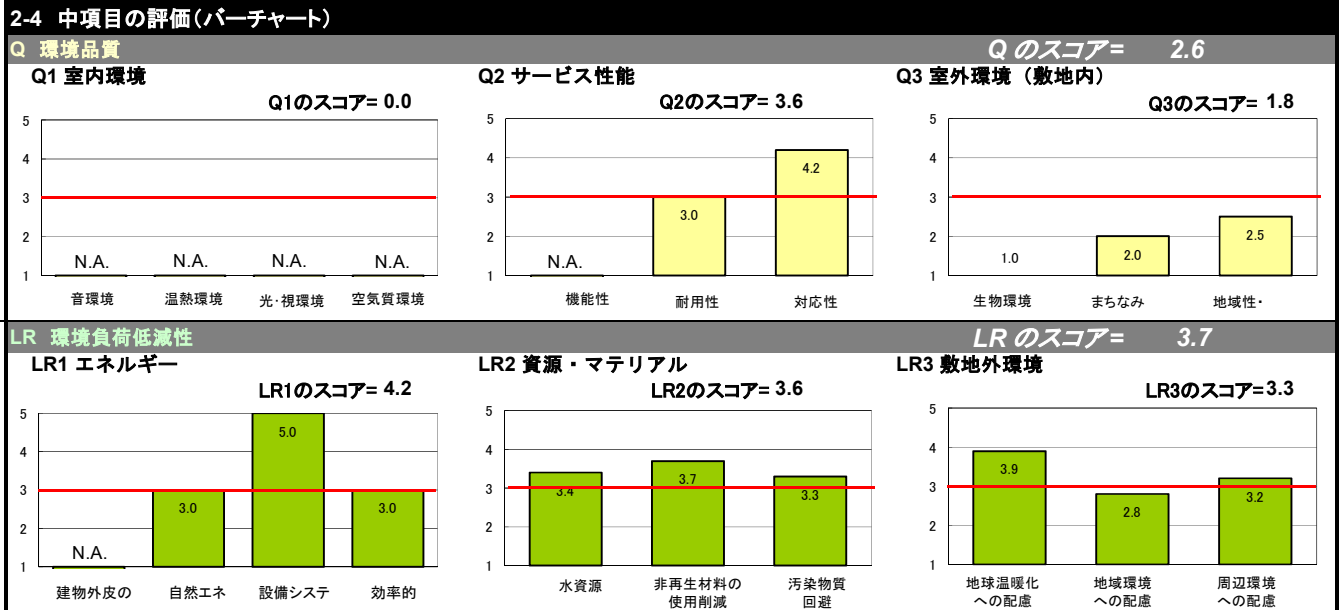
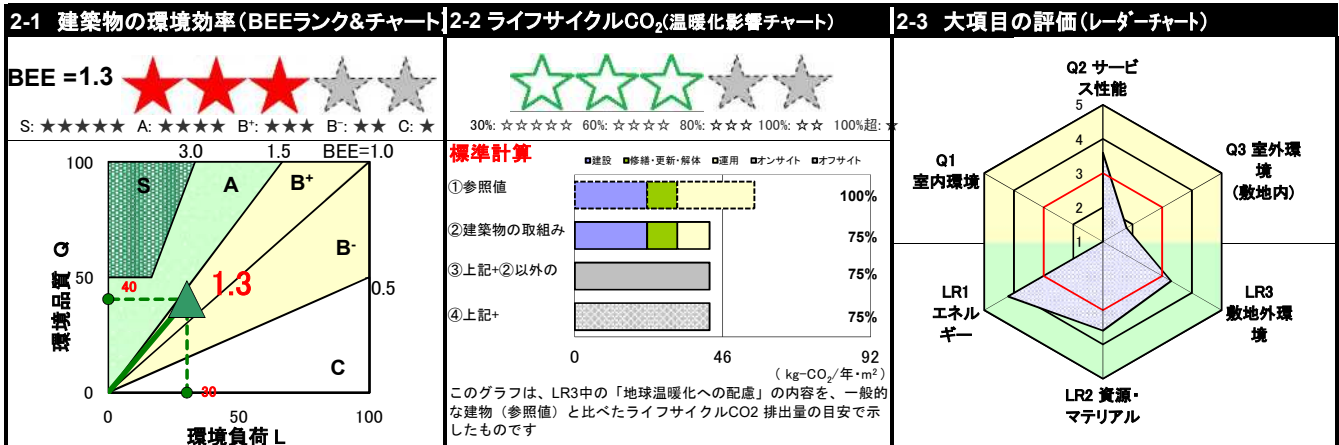


川崎市建築物環境配慮制度受付番号 23054

建築物名称	サントリーホールディングス(株)倉庫新築工事
建築主	サントリーホールディングス株式会社 代表取締役社長 新浪 剛史
建築物の所在地	川崎市中原区今井上町1641-1、57-6
設計者氏名、建築士事務所名	精木 賢一 株式会社安井建築設計事務所 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	3,616.26㎡
用途	倉庫業を営まない倉庫
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上3階
工事完了予定年月	令和8年5月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用、地中熱ヒートポンプ
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	なし

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	サントリーホールディングス(株) 倉庫新築工事	階数	地上3F
建設地	神奈川県川崎市中原区今井上町1641-1.57-6	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火地域・指定なし	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年05月 予定	評価の実施日	2024/6/24
敷地面積	3,400 m ²	作成者	精木 賢一
建築面積	1,662 m ²	確認日	2024/6/25
延床面積	3,616 m ²	確認者	新浪 剛史
		外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点(注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.3
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 2 まちなみ・景観への配慮 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	特になし	1.4/4.3	1.6
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	特になし	0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	3.1
Q-1 ■ 室内環境対策 2 2.1 2.1.2 外皮性能 3 3.1 3.1.3 屋光利用設備 3.2 3.2.1 屋光制御	評価対象外	0.0/0.0	-
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	特になし	0.6/2.3	1.3
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	BEIm=0.42。	4.3/5.0	4.3
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減 3 3.2 フロン・ハロンの回避	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 高炉セメントB種。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	3.4/4.7	3.6
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	特になし	0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	3.3
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 部品・部材の耐用年数	特になし	0.5/0.8	3.0
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 高炉セメントB種。	2.9/4.0	3.6
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.3 地域インフラへの負荷抑制	特になし	0.2/0.4	2.8
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	2.9
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	特になし	0.6/2.3	1.3
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	BEIm=0.42。	4.3/5.0	4.3
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	特になし	0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点

2.9

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点(注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数	特になし	0.1/0.2	3.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 2 2.2 既存建築躯体等の継続利用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメントB種	1.1/1.3	4.0
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	BEIm=0.42。	4.3/5.0	4.3

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

スコアシート		実施設計段階									
配慮項目		重点項目				環境配慮設計の概要記入欄					全体
		G	W	R	H		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質											2.6
Q1 室内環境											
1 音環境											
1.1 室内騒音レベル											
1.2 遮音											
1 開口部遮音性能											
2 界壁遮音性能											
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)											
4 界床遮音性能(重量衝撃源)											
1.3 吸音											
2 温熱環境											
2.1 室温制御											
1 室温											
2 外皮性能						W					
3 ゾーン別制御性											
2.2 湿度制御											
2.3 空調方式											
3 光・視環境											
3.1 昼光利用											
1 昼光率											
2 方位別開口											
3 昼光利用設備						W					
3.2 グレア対策											
1 昼光制御						W					
3.3 照度											
3.4 照明制御											
4 空気質環境											
4.1 発生源対策											
1 化学汚染物質											
4.2 換気											
1 換気量											
2 自然換気性能											
3 取り入れ外気への配慮											
4.3 運用管理											
1 CO ₂ の監視											
2 喫煙の制御											
Q2 サービス性能							0.43				3.6
1 機能性											
1.1 機能性・使いやすさ											
1 広さ・収納性											
2 高度情報通信設備対応											
3 バリアフリー計画											
1.2 心理性・快適性											
1 広さ感・景観											
2 リフレッシュスペース											
3 内装計画											
1.3 維持管理											
1 維持管理に配慮した設計											
2 維持管理用機能の確保											
2 耐用性・信頼性											
2.1 耐震・免震・制震・制振											
1 耐震性(建物のこわれにくさ)											
2 免震・制震・制振性能											
2.2 部品・部材の耐用年数											
1 躯体材料の耐用年数						R					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						R					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						R					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						R					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						R					
6 主要設備機器の更新必要間隔						R					
2.4 信頼性											
1 空調・換気設備											
2 給排水・衛生設備											
3 電気設備											
4 機械・配管支持方法											
5 通信・情報設備											

3	対応性・更新性								4.2	0.50	-	-	4.2
	3.1 空間のゆとり								4.6	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり							階高:3.9m以上。	5.0	0.60	-	-	
	2 空間の形状・自由さ							0.1≤[壁長さ比率]<0.3	4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり							床荷重:5500N/m ²	5.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性								3.4	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性							—	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性							—	3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性							電気配線は空配管内に設置されます。	5.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性							通信配線は空配管内に設置されます。	5.0	0.10	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)								—	0.57	-	-	1.8
	1 生物環境の保全と創出				G	W		H	—	1.0	0.30	-	1.0
	2 まちなみ・景観への配慮				G				—	2.0	0.40	-	2.0
	3 地域性・アメニティへの配慮								2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上								3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上				G	W		H	—	2.0	0.50	-	
	LR 建築物の環境負荷低減性										-	-	3.7
	LR1 エネルギー								—	0.40	-	-	4.2
	1 建物外皮の熱負荷抑制					W		H	—	-	-	-	-
	2 自然エネルギー利用					W		H	—	3.0	0.13	-	3.0
LR2	設備システムの高効率化					W		H	BEI _m =0.42。	5.0	0.63	-	5.0
	4 効率的運用								3.0	0.25	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価								3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング					W		H	—	3.0	0.50	-	
	4.2 運用管理体制					W		H	—	3.0	0.50	-	
	集合住宅の評価								-	-	-	-	
	4.1 モニタリング					W		H	—	-	-	-	
	4.2 運用管理体制					W		H	—	-	-	-	
	LR2 資源・マテリアル								—	0.30	-	-	3.6
	1 水資源保護					W		R	—	3.4	0.20	-	3.4
	1.1 節水							節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用								3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無							—	3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無							—	3.0	0.30	-	-	
	2 非再生性資源の使用量削減								3.7	0.60	-	-	3.7
	2.1 材料使用量の削減					W		R	—	2.0	0.11	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用					W		R	—	3.0	0.22	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					W		R	高炉セメントB種	5.0	0.22	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					W		R	断熱材	3.0	0.22	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材					W		R	—	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					W		R	LGS使用している。	5.0	0.22	-	
	3 汚染物質含有材料の使用回避								3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用							—	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避							—	3.5	0.70	-	-	
	1 消火剤					W		—	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)					W		ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用	4.0	0.50	-	-	
	3 冷媒					W		—	3.0	0.50	-	-	
	LR3 敷地外環境								—	0.30	-	-	3.3
	1 地球温暖化への配慮					W		ライフサイクルCO ₂ 排出率76%	3.9	0.33	-	-	3.9
	2 地域環境への配慮								2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1 大気汚染防止							—	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善				G	W		H	—	3.0	0.50	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制								2.5	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減						R	—	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制						R	—	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制						R	—	3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制						R	—	1.0	0.25	-	-	
	3 周辺環境への配慮								3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止							—	3.0	0.40	-	-	
	1 騒音							—	3.0	1.00	-	-	
	2 振動							—	-	-	-	-	
	3 悪臭							—	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制							—	3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制							—	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制							—	-	-	-	-	
	3 日照障害の抑制							—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制							—	4.4	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策							光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。	5.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策							—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	3.0	-	-	-	1.0	-	-	-	1.0	-	-	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	3.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	6.0	-	1.0	-	-	3.0	-	-	-	2.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムS(-)	窓の日射熱取得率(η)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
U値(W/m2K)	窓システム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
住戸部システムU値	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外壁	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
床	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ηAC	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ηAH	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋光率	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自然換気有効開口	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	.0㎡ / 人	病床	.0㎡ / 床	シングル	.0㎡ ツイン	.0㎡	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コンセント容量	0.0 VA/㎡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
天井高	0 m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
想定耐用年数	0 年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
想定必要間隔	0 年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
想定必要間隔	0 年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
想定必要間隔	0 年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
階高	4.7 m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
壁長さ比率	13.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
床荷重	5500 N/m2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	8%	建物緑化指数	0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
空地率	51%	水平投影面積率	2%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地表面対策面積率	5%	舗装面積率	48%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	対象外熱等性能等級	対象外 相当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自然エネルギー直接利	0 MJ/年㎡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI _m	非住宅	0.42	住宅	-	太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW	-	-	-	-	-
----------------------	-----	------	----	---	-----	------	------	------	-----	------	---	---	---	---	---

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特定調達品E断熱材	エコマーク商品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自治体指定の特定品目等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
使用比率	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
オゾン層破壊係数()	地球温暖化係数(GWP)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
オゾン層破壊係数()	0	地球温暖化係数(GWP)	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
オゾン層破壊係数()	地球温暖化係数(GWP)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	84%	棟間隔指標Rw	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
地表面対策面積率	8.0%	屋根面対策面積率	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外壁面対策面積率	0.0%	基礎高さHb	19.78 m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
見付面積Sb	1.038㎡	越風向と直交する最大敷地幅Ws	61.79 m	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
緑地	75㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡	再帰性反射対策面	㎡	-	-	-	-	-	-